

令和
9年度

福岡県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項

ふくおかで
先生になろう！



受付
期間

令和8年
3月27日(金)～5月22日(金)

第一次
試験

令和8年
7月12日(日)

\ 教師として求める人物像 /

福岡県教育委員会では、次の資質を有する教師を求めています。

1

子どもが
懂れる
人間的魅力

2

子どもに
対する
広く深い愛情

3

教師としての
強い使命感

昨年度からの主な変更点

■ 第一次試験の日程変更

令和7年6月15日(日) → 令和8年7月12日(日)

■ 小学校教員採用試験の対象拡大

養護教員志願者は、第2希望として小学校教員(一般)を併願することができます。

なお、併願合格者のうち、小学校教諭免許状を有していない者については、小学校教諭免許状取得を条件に、名簿登載期間を最大2年間延長します。

■ 特別支援学校教員採用試験の対象拡大

特別支援学校教員に併願合格した者のうち、特別支援学校教諭免許状を有していない者については、特別支援学校教諭免許状取得を条件に、名簿登載期間を最大2年間延長します。

■ 大学3年生チャレンジ特別選考の要件緩和

出願に際して、大学からの推薦要件を不要とし、個人による出願とします。

■ 高度専門職経験者特別選考の拡充

博士の学位を有する本特別選考の対象教科(科目)に「国語」と「英語」を追加します。

■ 単位取得後退学(博士課程)特例の新設

県立高等学校教員志願者のうち、大学院博士課程を単位取得後退学した者については、教員免許状取得を条件に、名簿登載期間を最大2年間延長します。

■ 点数加算の拡充

県立高等学校教員志願者のうち、高等学校教諭(情報)免許状所有者又は情報処理技術者試験合格者には、第一次試験の専門教科の得点への加算を行います。

■ 第一次試験における試験内容の変更

記述式問題を廃止し、全てマーク方式とします。また、英語リスニングテストについては、廃止します。

採用試験に関するお知らせ

第一次試験の試験会場や、日程変更等採用試験に関するお知らせは、福岡県のホームページ「教員採用」のページ(P.23参照)に随時掲載します。適宜確認をしてください。

目 次

1	選考区分、試験区分及び教科（科目）等	P.3
2	受験資格	P.4
3	特例申請	P.5
4	特別選考	P.6
5	試験区分及び選考区分別の試験項目及び 免除等について	P.7
6	第一次試験について	P.8
7	第二次試験について	P.8
8	点数加算について	P.9
9	試験結果の通知	P.9
10	採用について	P.10
11	試験スケジュールについて	P.10
12	出願方法と各手続きについて	P.11
13	特例申請・特別選考フローチャート	P.13
14	志願書等（出願書類）	P.14

選考日程

〈福岡会場〉

出願期間

3月27日（金）
～
5月22日（金）

受験票交付

6月19日（金）
までに

第一次試験

7月12日（日）

※台風等の災害により、実施が困難な場合は、7月19日（日）の予備日に実施

第一次試験合格発表

7月下旬

第二次試験

8月16日（日）
～
8月20日（木）

※久留米市立・古賀（古賀競成館）高等学校教員に出願した者については各教育委員会が別途通知

第二次試験合格発表

9月25日（金）

〈関東会場〉

※小学校、中学校及び特別支援学校教員の現職教員特別選考試験は、福岡会場の他に、関東会場でも実施します。2会場の試験を両方受験することはできません。

出願期間

9月1日（火）
～
9月24日（木）

試験

11月中旬

合格発表

11月下旬

令和9年度

福岡県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項

1 選考区分、試験区分及び教科（科目）等

「(1)一般選考」及び「(2)特別選考」のうち、いずれか1つの試験区分・教科（科目）等を選択して出願することができます。ただし、障がいのある人を対象とした特別選考〔特別選考Ⅷ〕（P.6参照）で出願する者は、他の特別選考も併せて出願できます。

(1) 一般選考

試験区分		教科（科目）等
小 学 校 教 員 （ 一 般 ）		
小 学 校 教 員 （ 英 語 有 資 格 者 ）		
中 学 校 教 員		国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
高等学校教員	県立高等学校教員	国語、地理歴史（歴史、地理）、公民、数学、理科（物理、化学、生物）、保健体育、音楽、美術、書道、家庭、農業、工業、商業、情報、英語
	久留米市立高等学校教員	数学
	古賀（古賀竟成館）高等学校教員	地理歴史（歴史）、英語
特 別 支 援 学 校 教 員		小学部 中学部 [国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語] 高等部 [国語、地理歴史（歴史、地理）、公民、数学、理科（物理、化学、生物）、保健体育、音楽、美術、家庭、情報、英語]
養 護 教 員		
栄 養 教 員		

（注）採用予定数は、4月初旬までに福岡県のホームページ「教員採用」のページ（P.23参照）に掲載する予定です。

(2) 特別選考

選考区分		対象となる試験区分及び教科（科目）	採用予定数
I	現職教員特別選考	小学校教員（一般）、中学校教員、県立高等学校教員、古賀（古賀競成館）高等学校教員、特別支援学校教員、養護教員、栄養教員	一般選考に含む。
II	元正規教員特別選考		
III	スポーツ成績優秀者特別選考	県立高等学校教員（保健体育）	
IV	高度専門職経験者特別選考	中学校教員（理科、技術、英語に限る。）、県立高等学校教員（国語、理科（物理、化学、生物）、工業、情報、英語に限る。）	
V	教職大学院修了（予定）者特別選考	小学校教員（一般）、中学校教員、県立高等学校教員、特別支援学校教員、養護教員、栄養教員	
VI	大学等推薦特別選考	小学校教員（一般）、中学校教員、特別支援学校教員	
VII	大学3年生チャレンジ特別選考	小学校教員（一般）、小学校教員（英語有資格者）、中学校教員、特別支援学校教員	15名程度
VIII	障がいのある人を対象とした特別選考	全試験区分	

併願について

中学校教員、県立高等学校教員及び養護教員を希望する者は、以下のとおり併願して出願することができます。ただし、併願先の免許状所有者又は取得見込みの者（併願者特例申請者を含む。）に限ります。また、併願は重複できません。

なお、併願者は併願する試験区分の試験項目も全て受験する必要があります。

中小併願 中学校教員を希望する者は、第2希望として小学校教員（一般）を併願することができます。

高中併願 県立高等学校教員希望者で国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭又は英語を希望する者は、第2希望として中学校教員の同一教科（地理歴史、公民は社会）を併願することができます。

中特併願 中学校教員を希望する者は、第2希望として特別支援学校教員（中学部）の同一教科を併願することができます。

高特併願 県立高等学校教員を希望する者は、第2希望として特別支援学校教員（高等部）の同一教科（科目）を併願することができます。

養小併願 養護教員を希望する者は、第2希望として小学校教員（一般）を併願することができます。

（注）高等学校教員を希望する者は、県立高等学校教員、久留米市立高等学校教員又は古賀（古賀競成館）高等学校教員のうち1つを選択して出願してください。これらの学校間の併願はできません。

2 受験資格

(1) 全ての受験者に共通する受験資格要件

- ア 昭和42年4月2日以降に出生した者（令和9年4月1日現在で59歳以下の者）
イ 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しない者
ウ 令和8年12月25日までに施行予定の学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律第2条第8項に規定する特定性犯罪事実該当者ではない者
（採用候補者名簿登載者に対しては、同法第4条第1項に基づき犯罪事実確認を実施します。）
※ 福岡県教育委員会により任命され、現在正規教員として勤務する者が、採用時と同一の校種・教科（科目）に出願することはできません。

(2) 試験区分別の必要な免許状

小 学 校 教 員（ 一 般 ）	次のア、イのいずれかに該当する者 ア 受験校種・教科の普通免許状所有者又は令和9年3月31日までに取得見込みの者 イ 受験校種・教科の福岡県教育委員会から授与された特別免許状所有者又は令和9年3月31日までに取得見込みの者
小学校教員（英語有資格者）	
中 学 校 教 員	
県 立 高 等 学 校 教 員	
久留米市立高等学校教員	
古 賀（古 賀 競 成 館） 高 等 学 校 教 員	受験する部に対応する校種・教科の普通免許状及び特別支援学校教諭普通免許状所有者又は令和9年3月31日までに取得見込みの者 ※ 特別支援学校教諭普通免許状については、次のア～オのいずれかの領域とする。 ア 視覚障害 イ 聴覚障害 ウ 知的障害 エ 肢体不自由 オ 病弱 ※ 盲学校、聾学校及び養護学校教諭普通免許状の所有者については、それぞれ、視覚障害、聴覚障害及び知的障害・肢体不自由・病弱の領域の特別支援学校教諭普通免許状の所有者とみなす。 ※ 特別支援学校教諭普通免許状取得見込みの者については、令和9年3月31日までに教育職員免許法第6条別表第7に定める取得要件を満たし、令和9年4月30日までに当該免許状を取得見込みの者を含む。
特 別 支 援 学 校 教 員	
養 護 教 員	
栄 養 教 員	
栄 養 教 員	

- (注) ① 社会人経験者特例【特例⑥】、単位取得後退学（博士課程）特例【特例①】又は他校種免許所有者特例【特例①】（P. 5参照）については、必要な免許状を令和11年3月31日までに取得見込みの者も受験可能です。
詳細は「10 採用について」(4)名簿登載期間の延長について（P.10参照）を確認してください。
② 併願者特例【特例⑥】（P. 5参照）については、第2希望の試験区分に必要な免許状を令和11年3月31日までに取得見込みの者も受験可能です。詳細は「10 採用について」(4)名簿登載期間の延長について（P.10参照）を確認してください。
③ 高度専門職経験者特別選考【特別選考Ⅳ】（P. 6参照）については、教員免許状の所有の有無は問いません。ただし、所有していない場合には担当する教科に関する専門的な知識、経験又は技能を有すると認められた場合に授与される特別免許状を取得する必要があります。授与手続きの詳細については、別途、合格者にお知らせします。
④ 大学3年生チャレンジ特別選考【特別選考Ⅶ】（P. 6参照）については、必要な免許状を令和10年3月31日までに取得見込みの者も受験可能です。
⑤ 海外留学等のための採用猶予制度を利用し、必要な免許状を令和10年3月31日までに取得見込みの者も受験可能です。詳細は、「10 採用について」(4)名簿登載期間の延長について（P.10参照）を確認してください。

(3) 小学校教員（英語有資格者）の受験資格

受験資格	提出書類
次の①～⑤のいずれかを満たす者 ① 中学校教諭（英語）又は高等学校教諭（英語）免許状を有する者 （取得見込みの者を除く。） ② 実用英語技能検定2級以上合格者 （令和3年4月1日以降に合格したものに限る。） ③ TOEIC 550点以上取得者 （令和3年4月1日以降に取得したスコアに限る。） ④ TOEFL iBT42点以上取得者 （令和6年4月1日以降に取得したスコアに限る。） ⑤ 上記 ②～④と同等の資格を有する者の中で特に福岡県教育委員会が認める者	○受験資格を証明する書類の写し（英検合格証明書、公開テスト公式認定証等） ※ 出願期間内に提出する必要があります。

- (注) ⑤については、具体的な申請内容に基づき、要件を満たすか個別に判断するものとします。

3 特例申請

(1) 一般選考における特例区分別の申請要件

特例区分		特例申請要件
教職等経験者	【特例㉓】 現職者 ㉓ ㉔	令和8年4月1日時点で、国公立学校（小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校）の正規教員として勤務している者（任期を定めて任用される者及び非常勤の者を除く。） <u>（校種及び教科（科目）を問わない。）</u> 。
	【特例㉔】 正規教員・ 講師等経験者 ㉓ ㉔	次の①及び②の両方を満たす者 ① 国公立学校（小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校）において、正規教諭、常勤講師、非常勤講師、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭としての勤務経験がある者又は福岡県内の国、地方公共団体もしくは独立行政法人が設置する教育施設（学校を除く。）において、指導業務に従事した経験がある者（正規・臨時を問わず、実習助手、寄宿舎指導員を除く。）（校種及び教科（科目）を問わない。）。 ② 令和3年4月1日から令和8年5月22日までの期間に、 <u>通算12月以上の①の経験を有する者。</u> ※ 勤務期間の算定については、様式2によること。
	【特例㉕】 国際貢献活動 経験者等 ㉓ ㉔	次の①及び②の両方を満たす者 ① 独立行政法人国際協力機構法（平成14年法律第136号）に基づく、「青年海外協力隊」、「日系社会青年ボランティア」、「シニア海外ボランティア」又は「日系社会シニア・ボランティア」もしくは文部科学大臣が認定する日本人学校の教員としての派遣経験（研修期間を含む。）がある者。 ② 平成28年4月1日から令和8年5月22日までの期間に、 <u>通算24月以上の①の経験を有する者。</u>
英語有資格者	【特例㉖】 英語有資格者 A	次の①及び②～⑤のいずれかを満たす者 ① 中学校又は特別支援学校（中学部）教員の「英語」に出願する者。 ② 実用英語技能検定 準1級以上合格者 ③ TOEIC 730点以上取得者 ④ TOEFL iBT80点以上取得者 ⑤ 上記②～④と同等の資格を有する者の中で特に福岡県教育委員会が認める者。
	【特例㉗】 英語有資格者 B ㉓	次の①及び②～⑤のいずれかを満たす者 ① 高等学校（中学校併願者を含む。）又は特別支援学校（高等部）教員の「英語」に出願する者。 ② 実用英語技能検定 1級合格者 ③ TOEIC 900点以上取得者 ④ TOEFL iBT100点以上取得者 ⑤ 上記②～④と同等の資格を有する者の中で特に福岡県教育委員会が認める者。
【特例㉘】 第一次試験合格者		次の①又は②のいずれかを満たす者 ① 令和8年度福岡県公立学校教員採用候補者選考試験の第一次試験に合格した者。ただし、第二次試験の個人面接及び模擬授業の評価が、県立高等学校教員、養護教員及び栄養教員希望者についてはB以上、中学校教員及び特別支援学校教員希望者についてはC以上の者に限る。 ② <u>前年度に大学3年生チャレンジ特別選考で合格した者。</u> ※ 前年度に合格した試験区分、教科（科目）等と同一の試験を受験する者を本特例の対象とする（併願者については、合格した試験区分を対象とする。）。 ※ 前年度に第一次試験合格者特例の対象であった者及び第一次試験免除であった者は、本特例の対象外とする。 ※ ①については、併願の申請はできないものとする。 ※ ②については、前年度併願者のうち、第1希望の試験区分で合格した者は前年度第2希望の試験区分について併願できる。
【特例㉙】 社会人経験者		現に法人格を有する民間企業等に正規職員として、平成28年4月1日から令和8年5月22日までの期間に、 <u>通算24月以上の経験を有する者。</u> ただし、休職期間等、勤務の実績がない期間は含まない。 ※ <u>出願日時時点で必要な教員免許状を取得済みの者は、本特例の対象外とする。</u>
【特例㉚】 併願者		次の①又は②のいずれかを満たす者 ① 養護教員を希望する者のうち、第2希望として小学校教員（一般）を併願した者。 ② 中学校教員又は高等学校教員を希望する者のうち、第2希望として特別支援学校教員を併願した者。 ※ <u>出願日時時点で第2希望に必要な教員免許状を取得済みの者は、本特例の対象外とする。</u>
【特例㉛】 単位取得後退学 （博士課程）		次の①及び②の両方を満たす者 ① 高等学校教員「国語」、「理科（物理、化学、生物）」、「工業」、「情報」、「英語」のいずれかに出願する者。 ② 大学院博士課程の修了に必要な単位は取得したが、博士号を取得せず退学した者。 ※ <u>出願日時時点で必要な教員免許状を取得済みの者は、本特例の対象外とする。</u>
【特例㉜】 他校種免許所有者		次の①及び②の両方を満たす者 ① 小学校教員（一般及び英語有資格者）又は特別支援学校教員に出願する者（併願者を除く。）。 ② 出願する試験区分以外の普通免許状所有者。 ※ <u>出願日時時点で出願する試験区分に必要な教員免許状を取得済みの者は、本特例の対象外とする。</u>

- (注) ① 重複可能な特例の組み合わせは、教職等経験者特例と英語有資格者特例の組み合わせ、又は教職等経験者特例と併願者特例の組み合わせとなります。
- ② 英語有資格者特例における特例申請要件②～④は、令和6年4月1日以降に合格又は取得したスコアに限りします。
- ③ 特例申請要件を満たしていないと判断された場合は、一般選考（特例なし）での受験となります。
- ④ 特例区分欄に㉓ ㉔とあるものは、㉓ 久留米市立高等学校教員、㉔ 古賀（古賀競成館）高等学校教員に出願する者も対象となります。

(2) 特例申請に係る書類

特例を申請する者は、以下の書類を出願期間内に提出する必要があります。

特例区分		提出書類
㉓ ㉔ ㉕	教 職 等 経 験 者	○〔様式2〕教職等経験者を対象とした一般選考の特例申請書 ○経験を証明する書類。詳細は〔様式2〕の注意事項参照。
㉖ ㉗	英 語 有 資 格 者	○特例申請要件を証明する書類の写し（英検合格証明書、公開テスト公式認定証等）
㉘	第 一 次 試 験 合 格 者	○令和8年度福岡県公立学校教員採用候補者選考試験第一次試験結果通知書の写し及び第二次試験の評価通知の写し ※ 大学3年生チャレンジ特別選考で合格した者は第一次試験結果通知書のみ
㉙	社 会 人 経 験 者	○〔様式3〕社会人経験者を対象とした一般選考の特例申請書
㉚	併 願 者	
㉛	単 位 取 得 後 退 学 （ 博 士 課 程 ）	○特例申請要件の②を証明する書類の写し（単位取得退学証明書等）
㉜	他 校 種 免 許 所 有 者	○特例申請要件の②を証明する教員免許状等の写し（見込み証明不可）

※ 〔様式2〕、〔様式3〕は、福岡県のホームページ「教員採用」のページ（P.23参照）からダウンロードするか、P.18、P.19をコピーして使用してください。

4 特別選考

(1) 特別選考における選考区分別の受験資格要件

選考区分	受験資格要件
[特別選考Ⅰ] 現職教員特別選考 ㊸	次の①及び②の両方を満たす者 ① 令和8年4月1日（関東会場の受験者は令和8年9月1日）時点で、国公立学校（小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校）の正規教員として勤務している者（任期を定めて任用される者及び非常勤の者を除く。）。 ② 受験校種等及び教科（科目）（特別支援学校においては部）の正規教員としての勤務経験がある者（養護教員及び栄養教員については校種を問わない。）。
[特別選考Ⅱ] 元正規教員特別選考 ㊹	次の①及び②の両方を満たす者 ① 過去に、国公立学校（小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校）の正規教員として、3年以上の勤務経験がある者（任期を定めて任用される者及び非常勤の者を除く。）。 ② 受験校種等及び教科（科目）（特別支援学校においては部）の正規教員としての勤務経験がある者（養護教員及び栄養教員については校種を問わない。）。
[特別選考Ⅲ] スポーツ成績優秀者特別選考	次の①及び②の両方を満たす者 ① 高等学校教員の「保健体育」に出願する者（高中併願者、高特併願者を除く。）。 ② 以下の種目において、(ア)又は(イ)に該当する者（高等学校卒業後の実績に限る。）。 野球、陸上競技・駅伝競走、体操・新体操、水泳、バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテニス、ハンドボール、サッカー、ラグビー、バドミントン、ソフトボール、相撲、柔道、剣道、レスリング、弓道、テニス、登山、ボクシング、ウエイトリフティング、ヨット、フェンシング、空手道、アーチェリー、なぎなた、自転車、ボート、カヌー、少林拳法、ホッケー (ア) 国際的規模の競技大会（オリンピック、世界選手権、ワールドカップ、アジア競技大会、ユニバーシアード大会等）に日本代表として出場した者。 (イ) 全日本選手権又はこれに準ずる全国規模の大会（国民スポーツ大会、全日本学生選手権等）において、優勝又は準優勝（二位）の実績を有する者（団体競技の場合、優勝又は準優勝（二位）の実績を残した大会において準々決勝以上の試合に出場した者）。 ※ (イ)については平成28年4月1日以降の実績に限りします。 ※ 競技大会の規模や参加者数等によっては、特別選考の対象とならないことがあります。なお、特別選考の対象となったかどうかは、6月中旬までに通知します。
[特別選考Ⅳ] 高度専門職経験者特別選考	次の①及び②の両方を満たす者 ① 中学校教員「理科」、「英語」又は高等学校教員「理科（物理、化学、生物）」、「工業」、「情報」、「英語」のいずれかに出願する者。 ② 大学の教授・准教授等のうち、特に福岡県教育委員会が認める者又は法人格を有する民間企業等（私立学校、学習塾、予備校等を除く。）に正規職員として勤務した経験を持ち、志望する教科（科目）に関する専門分野の勤務経験（正規職員に限る。）が令和9年3月31日以前5年以内に3年以上ある者のうち、特に福岡県教育委員会が認める者。 ただし、休職期間等、勤務の実績がない期間は含まない。 次の③及び④の両方を満たす者 ③ 高等学校教員「国語」、「理科（物理、化学、生物）」、「工業」、「情報」、「英語」のいずれかに出願する者。 ④ 令和8年4月1日時点で、受験する教科（科目）の分野における博士の学位を有し、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有する者。
[特別選考Ⅴ] 教職大学院修了（予定）者特別選考	次の①又は②のいずれかを満たす者 ① 令和3年4月1日以降に教職大学院課程を修了した者。 ② 教職大学院在学中の者で、令和10年3月31日までに修了予定の者。
[特別選考Ⅵ] 大学等推薦特別選考	別途定める「令和9年度福岡県公立学校教員採用候補者選考試験大学等推薦特別選考実施要項」の要件を満たしていると認められ、大学等を通じて本選考区分への推薦を受ける者。 ※ 志願者本人が電子申請等により本選考区分へ出願する必要があること。 ※ 要項は福岡県のホームページ「教員採用」のページ（P.23参照）に掲載
[特別選考Ⅶ] 大学3年生チャレンジ特別選考	別途定める「令和9年度福岡県公立学校教員採用候補者選考試験大学3年生チャレンジ特別選考実施要項」の要件を満たしている者。 ※ 要項は福岡県のホームページ「教員採用」のページ（P.23参照）に掲載
[特別選考Ⅷ] 障がいのある人を対象とした特別選考 ㊺ ㊻	身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳のいずれかの交付を受けている者

- (注) ① 特別選考受験資格要件を満たしていないと判断された場合は、[特別選考Ⅳ]を希望する者で受験校種・教科の教員免許状を所有していない者については一般選考【特例㉔】、それ以外の者については一般選考（特例なし）での受験となります。
- ② 選考区分欄に㊸ ㊹とあるものは、㊸ 久留米市立高等学校教員、㊹ 古賀（古賀競成館）高等学校教員に出願する者も対象となります。

(2) 特別選考出願に係る書類

特別選考に出願する者は、以下の書類を出願期間内に提出する必要があります。

選考区分	提出書類
I 現 職 教 員	
II 元 正 規 教 員	
III ス ポ ー ツ 成 績 優 秀 者	○競技会の主催者等が発行する証明書又は資格を証明する書類（国際的規模の大会の場合は出場したことが確認できるもの、全国規模の大会の場合はその成績が確認できるもの）の写し ○競技会の概要が分かる書類の写し（例：開催要項等） ○(団体競技等の場合) 優勝又は準優勝（二位）の実績を残した大会において準々決勝以上の試合に出場したことが分かる書類の写し
IV 高 度 専 門 職 経 験 者	○①及び②の両方を満たす者は「様式3」高度専門職経験者を対象とした特別選考申請書 ○③及び④の両方を満たす者は博士の学位を証明するものの写し及び研究内容を証明する資料（論文等の写し）
V 教職大学院修了（予定）者	○修了した者は修了証明書の写し、在学中の者は在学証明書の写し又は修了予定証明書の写し
VI 大 学 等 推 薦	
VII 大学3年生チャレンジ	○誓約書、在学証明書
VIII 障 が い の あ る 人	○[様式4] 障がいのある人を対象とした特別選考申請書 ○身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳の写し

※ [様式3]、[様式4]は、福岡県のホームページ「教員採用」のページ（P.23参照）からダウンロードするか、P.19、P.20をコピーして使用してください。

5 試験区分及び選考区分別の試験項目及び免除等について

第一次試験及び第二次試験は以下のとおり実施します。（表上段）

なお、一般選考（特例あり）及び特別選考においては、以下のとおり試験の一部を免除します。（表下段）

また、併願者は併願する試験区分の試験項目も全て受験する必要があります。

試験区分及び選考区分				第一次試験（マーク方式）			第二次試験				
				専門教科 ※ 1	教職教養 ※5	特別支援専門 (特別支援学校受験者（併願含む）のみ)	模擬授業	個人面接	英語面接 (英語受験者のみ)	実技試験 (※6～8 に記載の者のみ)	
				【60 分】	【50 分】	【60 分】	評価区分 (A ～ D)	評価区分 (A ～ E)	評価区分 (A ～ E)	評価区分 (A ～ D)	
小学校教員（一般及び英語有資格者）				●			●	●	—	—	
配点				150 点 ※2							
中学校教員				●	●		●	●	●	●※6	
配点				150 点	50 点						
高等学校教員				●	●		●	●	●	●※7	
配点				150 点	50 点						
特別支援学校教員				●	●	●	●	●	—	—	
配点				150 点 ※3	50 点	100 点					
養護教員				●	●		—	●	—	●※8	
配点				150 点 ※4	50 点						
栄養教員				●	●		●	●	—	—	
配点				150 点	50 点						
試験項目の免除について											
一般選考 (特例あり)	① ② ③	教 職 等 経 験 者	小 学 校 教 員	● ※9	—	—	●	●	—	—	
			特別支援学校教員 (小 学 部)	● ※9	免除	●	●	●	—	—	
			上 記 以 外	● ※10	免除	●	●	●	●	●	
	④	英 語 有 資 格 者 A		免除	●	●	●	●	免除	—	
	⑤	英 語 有 資 格 者 B		免除	●	●	●	●	●	—	
	⑥	第 一 次 試 験 合 格 者			免除			●	●	●	●
	⑧ ⑨ ⑩	社 会 人 経 験 者 併 願 者 単 位 取 得 後 退 学 (博 士 課 程)		※11			●	●	●	●	
	⑪	他 校 種 免 許 所 有 者 ※11			●	●	●	●	●	—	—
特別選考	I	現 職 教 員		● ※12	免除		● ※12	●	● ※12	免除	
	II	元 正 規 教 員		● ※12	免除		●	●	● ※12	免除	
	III	ス ポ ー ツ 成 績 優 秀 者			免除			●	●	—	免除
	IV V VI	高 度 専 門 職 経 験 者 教 職 大 学 院 修 了 (予 定) 者 大 学 等 推 薦			免除			●	●	●	●
	VII	大 学 3 年 生 チ ャ レ ン ジ ※11			●	●	●				
	VIII	障 が い の あ る 人 ※13			●	●	●				

※1 小学校教員の専門教科試験は、教職教養に関する内容（教育原理、教育心理、教育法規、人権・同和教育及び一般教養等）を含めて出題します。

・特別支援学校教員の専門教科試験は、各部に対応する校種、教科（科目）と同一の試験内容です。

※2 小学校教員（英語有資格者）を受験する者は、「専門教科」試験内の「英語に関する試験」を免除します。

※3 特別支援学校教員（小学部）を受験する者は、「専門教科」試験内の「教職教養に関する内容」を免除します。

※4 養小併願者は、小学校教員の専門教科試験（教職教養に関する内容は免除）も実施します。

※5 教職教養は、教育原理、教育心理、教育法規、人権・同和教育及び一般教養等から出題します。

※6 中学校教員の実技試験については、音楽、美術、保健体育及び家庭のみ実施します。

※7 高等学校教員の実技試験については、音楽、美術、保健体育、書道、家庭及び工業のみ実施します。

※8 養護教員の実技試験については、救急処置、健康診断、保健指導及び健康相談の中から、試験当日に指定します。

※9 「専門教科」試験内の「教職教養に関する内容」を免除します。

※10 中学校教員の技術又は家庭を受験する者（中特併願者を除く。）は、専門教科を免除します。

※11 試験内容は「一般選考」と同様です。

※12 高等学校教員受験者のみ実施します。

※13 試験内容は「一般選考」と同様ですが、受験に際して配慮を必要とする場合は、拡大文字や手話通訳等、障がいの程度に応じて対応します。点字による受験を希望する場合は、出願前にお問い合わせください。

6 第一次試験について

第一次試験の試験会場については、受験票及び6月中旬までに福岡県のホームページ「教員採用」のページ（P.23参照）でお知らせします。また、詳細な試験時間については、受験票で確認をしてください。

(1) 評価の観点

- ア 専門教科
教員として必要な教科（科目）の基礎知識や専門的知識を身に付けているか。
- イ 教職教養
教員として必要な教養知識が習得できているか。
- ウ 特別支援専門
特別支援教育に関する基礎知識や専門的知識を身に付けているか。

(2) 選考方法

全選考区分、教科（科目）において、免除される試験内容については、一定程度の水準に達しているものとみなします。

- ア 小学校教員（一般・英語有資格者）
専門教科の得点が上位の者から第一次試験合格者とする。
- イ 中学校及び県立高等学校教員（英語を除く。）、養護教員、栄養教員
教職教養の得点が一定程度の水準に達している者について、専門教科の得点が上位の者から第一次試験合格者とする。
- ウ 中学校及び県立高等学校教員（英語）
 - (ア) 英語有資格者特例の対象者以外の受験者
教職教養の得点が一定程度の水準に達している者について、専門教科の得点が上位の者から第一次試験合格者とする。
 - (イ) 英語有資格者特例の対象者
教職教養の得点が一定程度の水準に達している者を第一次試験合格者とする。
- エ 特別支援学校教員
教職教養及び専門教科の得点が一定程度の水準に達している者について、特別支援専門の得点が上位の者から第一次試験合格者とする。

7 第二次試験について

第二次試験は、第一次試験の合格者及び免除者を対象に実施します。日程等を含めた第二次試験の詳細は、第一次試験の結果通知時にお知らせします。

(1) 評価の観点

- ア 模擬授業
話し方、指導力、説得力、質問等への対応、教員としての資質や意欲等
- イ 個人面接
態度、表現力、コミュニケーション能力、積極性等
- ウ 英語面接
英会話能力、応答の適切さ、積極性等
- エ 実技試験
教科等を指導する上で必要な技能等を理解し、身に付けているか。
- オ 養護実技
養護教員として必要な技能等を理解し、身に付けているか。

(2) 選考方法

全選考区分、教科（科目）において、免除される試験内容については、一定程度の水準に達しているものとみなします。

- ア 中学校及び県立高等学校教員（音楽、美術、保健体育、書道、家庭、工業）、養護教員
模擬授業（養護教員を除く。）がC以上の者の中から、個人面接による人物評価及び実技試験の成績を重視し、各試験内容の評価を総合的に判断して選考する。なお、選考に当たっては、第一次試験の結果及び志願書・自己PR用紙の記載事項を考慮するものとする。
- イ 小学校教員、中学校及び県立高等学校教員（国語、社会、数学、理科、地理歴史、公民、技術、農業、商業、情報）、特別支援学校教員、栄養教員
模擬授業がC以上の者の中から、個人面接による人物評価を重視し、各試験内容の評価を総合的に判断して選考する。なお、選考に当たっては、第一次試験の結果及び志願書・自己PR用紙の記載事項を考慮するものとする。
- ウ 中学校及び県立高等学校教員（英語）
模擬授業がC以上の者の中から、個人面接による人物評価及び英語面接による英語力の評価を重視し、各試験内容の評価を総合的に判断して選考する。なお、選考に当たっては、第一次試験の結果及び志願書・自己PR用紙の記載事項を考慮するものとする。

8 点数加算について

(1) 加算要件と加算点

次の各試験区分において、特定の資格・免許等を有し、点数加算を希望する者には第一次試験の専門教科の得点に以下のとおり加算をします（第一次試験の専門教科が免除となる者は対象外とする。）。

試験区分	加算要件	加算点 ※1
小学校教員	次のア、イのいずれかに該当する者 ア 中学校教諭（英語）又は高等学校教諭（英語）免許状所有者 イ 実用英語技能検定準1級程度以上合格者 ※2	15点
	ICT支援員又はITCE（教育情報化コーディネーター）として認定された者 ※3	10点
	特別支援学校教諭免許状所有者 ※4	5点
	司書教諭資格所有者	5点
中学校教員	特別支援学校教諭免許状所有者 ※4	5点
	司書教諭資格所有者	5点
県立高等学校教員	特別支援学校教諭免許状所有者 ※4	5点
	司書教諭資格所有者	5点
	高等学校教諭（情報）免許状所有者 ※5	5点
	独立行政法人情報処理推進機構が実施する右の情報処理技術者試験に、平成21年度以降に合格した者 (ア) 基本情報技術者試験（FE） (イ) 応用情報技術者試験（AP） 又は 情報処理技術者試験要綱の試験区分に基づく高度試験	10点
古賀（古賀竟成館）高等学校教員	特別支援学校教諭免許状所有者 ※4	5点
特別支援学校教員	司書教諭資格所有者	5点
養護教員	看護師免許所有者	15点

※1 同一の試験区分で複数の加算要件を満たす場合、加算点数の重複を認めます。

※2 実用英語技能検定準1級程度以上合格者には、以下の①～③の得点取得者及び有資格者を含みます。

① TOEIC 730点以上取得者
（令和6年4月1日以降に取得したスコアに限る。）

② TOEFL iBT 80点以上取得者
（令和6年4月1日以降に取得したスコアに限る。）

③ 上記①～②と同等の資格を有する者の中で特に福岡県教育委員会が認める者

※3 令和8年5月22日までに認定されたものに限り、同等の資格を有する者の中で特に福岡県教育委員会が認める者を含みます。

※4 「2受験資格」（P.4参照）に記載の領域に限りま。

※5 高等学校教員「情報」に出願する者は加算点数を認めません。

※6 (ア)、(イ)の両方の加算要件を満たす場合、10点を加算します。

(2) 点数加算に係る提出書類

点数加算を希望する者は、加算要件を満たすことを証明する以下の書類（見込み証明不可）を出願期間内に提出する必要があります。

- 英検合格証明書の写し
- 認定証等の写し
- 教員免許状の写し
- 司書教諭講習修了証書の写し
- 情報処理技術者試験に合格したことがわかる書類（合格証書等）の写し
- 看護師免許証の写し又は登録済証明書の写し

9 試験結果の通知

(1) 第一次試験結果の通知

第一次試験の結果は、7月下旬までに通知する予定です。

なお、併願者においては、第一次試験の合格通知にて第二次試験の試験区分を通知します。

(2) 第二次試験結果の通知

第二次試験の結果は、9月25日（金）に通知する予定です。なお、併願者においては、合格通知にて名簿登載された試験区分を通知します。

(3) 関東会場受験者への試験結果の通知

試験の結果は、11月下旬に通知する予定です。

※ (1)～(3)の試験結果に関する問い合わせには応じられません。なお、結果は福岡県のホームページ「教員採用」のページ（P.23参照）でも閲覧できます（ホームページ掲載開始日時等、詳しくは、試験当日に受験者にお知らせします。）。

(4) 試験結果の開示について

第一次及び第二次試験で不合格となった者については、試験結果を通知する際、全員に各試験内容の得点及び評価を併せて通知します。

※ 市立・組合立高等学校教員を受験した者の試験結果の開示については、各教育委員会（P.23参照）に問い合わせてください。

10 採用について

(1) 採用候補者名簿登載

- ア 第二次試験の合格者は、採用候補者名簿に登載されます。
 イ 採用候補者名簿の有効期間は、令和10年3月31日までです。
 ウ 日本国籍を有しない者については講師（任用の期限を付さない常勤講師）として採用します。

(2) 採用できない場合

- ア 採用日時点において有効な免許状を所有していない場合は、採用できません。
 イ 受験資格の要件（特例申請の要件を含む。）が満たされない場合には、採用できません。
 ウ 教職大学院修了（予定）者特別選考による採用候補者名簿登載者で、教職大学院3ヵ年課程の在籍者のうち、教職大学院3年の者は令和9年3月31日までに、教職大学院2年の者は令和10年3月31日までに、課程を修了できなかった場合は採用できません。
 エ 教職大学院修了（予定）者特別選考による採用候補者名簿登載者で、教職大学院2ヵ年課程の在籍者のうち、教職大学院2年の者は令和9年3月31日までに、教職大学院1年の者は令和10年3月31日までに、課程を修了できなかった場合は採用できません。
 オ 教員としての適格性を欠く事実が明らかになった場合は、採用できません。
 カ 出願内容に虚偽の申告があった場合は、採用できないことがあります。

(3) 配属先について

- ア 小学校、中学校及び県立高等学校教員採用候補者名簿に登載された者は、義務教育学校、特別支援学校、県立の中学校又は中等教育学校に採用されることがあります。
 イ 小学校教員（一般）又は（英語有資格者）のどちらの試験区分で採用されても、原則小学校全科での採用となります。
 ウ 養護教員、栄養教員採用候補者名簿に登載された者は、小学校、中学校、高等学校の他、義務教育学校、特別支援学校、県立の中学校、中等教育学校又は社会教育施設に採用されることがあります。
 エ 特別支援学校教員採用候補者名簿に登載された者は、久留米市立又は大牟田市立の特別支援学校に採用されることがあります。
 オ 特別支援学校教員採用候補者名簿に登載された者は、受験した部とは異なる部に採用されることがあります。
 カ [特別選考Ⅷ]により採用された者は、障がいの種類や程度を勘案して配属先を決定します。
 キ 新規採用職員は県内いずれの地域にも配属されます（福岡県教育委員会の小・中・高・特・養・栄）。

(4) 名簿登載期間の延長について

採用候補者名簿登載者のうち、次のア～エについて、本人の申請に基づく各教育委員会の承認により、名簿登載期間を延長することができます。

ア 大学院修士課程等在籍者に対する特例

大学院修士課程及び教職大学院への進学希望者又は在籍中の者で、受験校種・教科の教員免許状所有者又は令和9年3月31日までに取得見込みの者であり、受験校種・教科の専修免許状（特別支援学校教員採用候補者名簿に登載された者は、受験した部に対応する校種・教科の専修免許状又は特別支援学校教諭の専修免許状）を令和11年3月31日（在籍中の者は令和10年3月31日）までに取得見込みの者については、名簿登載期間を令和12年3月31日（在籍中の者は令和11年3月31日）まで延長することができます。

なお、名簿登載期間を延長した者について、令和11年3月31日（在籍中の者は令和10年3月31日）までに受験校種・教科の専修免許状が取得できない場合は、採用できません。

イ 社会人経験者特例、単位取得後退学（博士課程）特例又は他校種免許所有者特例における免許取得期間猶予制度

社会人経験者特例、単位取得後退学（博士課程）特例又は他校種免許所有者特例を利用して第二次試験に合格し、採用候補者名簿に登載された者は、教員免許状取得に係る期間に応じて、名簿登載期間を令和12年3月31日まで延長することができます。

なお、合格した校種・教科の教員免許状取得後の4月から採用となり、令和11年3月31日までに取得できない場合は、採用できません。

ウ 併願者特例における免許取得期間猶予制度

併願者特例を利用して第2希望の試験区分で第二次試験に合格し、採用候補者名簿に登載された者は、教員免許状取得に係る期間に応じて、名簿登載期間を令和12年3月31日まで延長することができます。

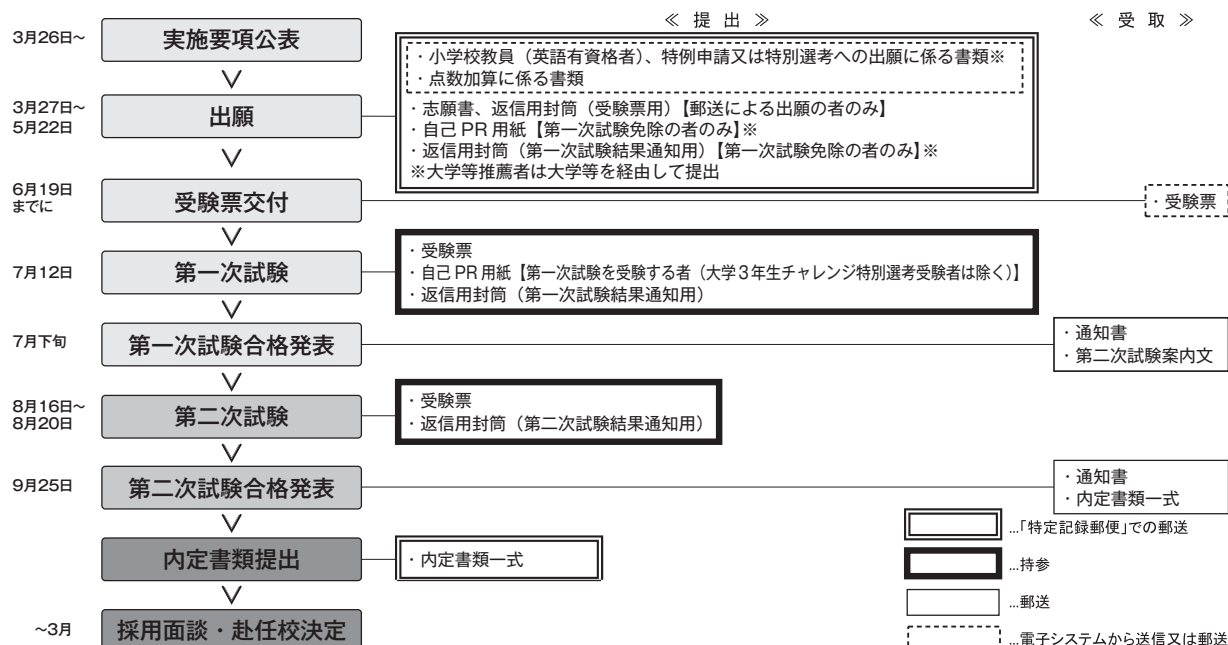
なお、合格した校種の教員免許状取得後の4月から採用となり、令和11年3月31日までに取得できない場合は採用できません。

エ 海外留学等のための採用猶予制度

第二次試験合格後に大学が協定を結んだ留学プログラム等に参加し、受験校種・教科の教員免許状を令和9年3月31日までに取得できないことが見込まれる者については、名簿登載期間を令和11年3月31日まで延長することができます。

なお、名簿登載期間を延長した者について、令和10年3月31日までに受験校種・教科の教員免許状が取得できない場合は、採用できません。

11 試験スケジュールについて



12 出願方法と各手続きについて

I 出願について

(1) 出願期間

3月27日（金）～5月22日（金）＜5月22日（金）の消印まで有効＞ 持参不可

※現職教員特別選考試験（県外実施分）のみ9月1日（火）～9月24日（木）＜9月24日（木）の消印まで有効＞持参不可

(2) 出願手続き

「令和9年度福岡県公立学校教員採用候補者選考試験出願手続」（P.23参照）にアクセスの上、電子申請により出願してください。なお、インターネット環境がない志願者については郵送による出願も可能です。

- ※1 出願期間中は24時間申請を受け付けていますが、保守点検作業等のため電子申請システムを停止する場合があります。また、出願期間終了の直前は、電子申請システムが混み合う恐れがありますので、余裕をもって申請してください。
- ※2 申請情報の送信を行うと、ふくおか電子申請サービスログイン画面で入力されたメールアドレス又は利用者登録で入力されたメールアドレス宛てに受付完了メールが送信されます。時間をとおいても受付完了メールが届かない場合は、申請が正しく行われていない場合がありますので、P.12の「(5)出願時の留意事項」の**ア**に記載の問い合わせ先まで出願期間内にご連絡ください。
- ※3 申請情報の送信完了後、「申請書控え保存」ボタンをクリックし、申請内容をダウンロードし必ず保存してください。なお、入力したメールアドレス、受付番号及び自身で設定したパスワードは受験票発行時に必要なため、忘れないように必ず控えておいてください。
- ※4 小学校教員（英語有資格者）、特例申請又は特別選考への出願及び点数加算利用者については、提出書類を電子申請時に添付するか、電子申請後、出願期間内に別途郵送をしてください。

【郵送による出願】

次の①及び②を作成し、提出してください。

- ① 志願書・・・P.15の志願書を切り離し、P.14の志願書記入上の注意及び記入例を参考に記入してください。
- ② 返信用封筒（受験票用）・・・P.12の「IV 返信用封筒について」の受験票用を参照してください。

(3) 提出書類

ア 小学校教員（英語有資格者）、特例申請又は特別選考への出願に係る書類

イ 点数加算に係る書類

ウ 自己PR用紙【第一次試験が全て免除となる者のみ】

福岡県のホームページ「教員採用」のページ（P.23参照）からダウンロードするか、P.21の自己PR用紙をコピーし必要事項を記入してください。

エ 返信用封筒（第一次試験結果通知用）【第一次試験が全て免除となる者のみ】

詳細は、P.12の「IV 返信用封筒について」の第一次試験結果通知用を参照してください。

※ **ア、ウ及びエ**については、[特別選考Ⅵ] 大学等推薦特別選考で出願する者は大学等を経由して提出してください。

書類の提出先

〒812-8575

福岡市博多区東公園7番7号

福岡県教育庁教職員課 市町村立学校係・・・小学校・中学校・養護・栄養教員志願者

県立学校係・・・高等学校・特別支援学校教員志願者

※ 併願者は、第1希望の担当係に提出してください。

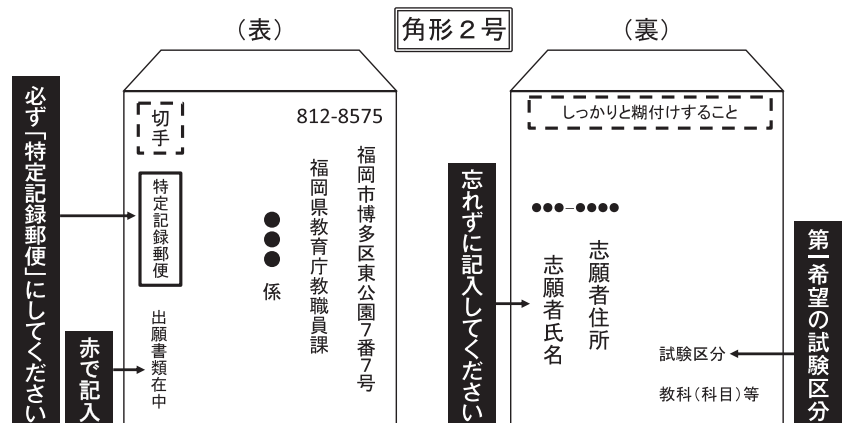
(4) 郵送による提出方法

ア 右図のとおり封筒を作成し、「特定記録郵便」により郵送してください。

イ P.16の「提出書類表紙」をコピーし
必要事項を記入の上、同封してください。

ウ 出願期間最終日翌日以降の消印のものは、受け付けません。

エ 切手の料金不足に注意してください。



(5) 出願時の留意事項

ア 申請内容や提出書類等に不備や不足がある場合は、受理できません（記入漏れ、写真のサイズ違い、封筒の規格違い、切手の金額不足等）。

※ 申請内容や提出書類等に不備や不足、不明な点がある場合、出願時に入力（記入）した連絡先に下記の電話番号から問い合わせることがありますので、出願時には、確実に連絡がとれる連絡先を入力（記入）してください。

〔市町村立学校係〕 092-643-3892 〔県立学校係〕 092-643-3893

※ 上記の電話番号から着信履歴があった場合は、必ず折り返し電話をかけてください。

イ 申請情報の送信後、又は志願書等の提出後の試験区分、教科（科目）、選考区分等の変更は認めません。

ウ 志願書等の提出後は、いかなる理由があっても提出書類は返却しません。

エ 出願内容に虚偽の申告があった場合は、採用できないことがあります。

オ 書類の写しを提出する場合は、大きさをA4判にそろえてください。なお、写しの右上に試験区分、教科（科目）等及び氏名を記入してください。

カ 〔特別選考Ⅶ〕で出願する者のうち、受験に際して配慮を必要とする者は、拡大文字や手話通訳等による受験、車椅子や拡大鏡の使用等、障がいの状況や程度に応じた対応をします。配慮を必要とする場合は、〔様式4〕の「配慮を希望する事項」欄に記入してください。

キ 証明書等に記載された氏名と出願時点での氏名が異なる場合は、戸籍抄本を提出してください（戸籍謄本不可）。

ク 以下の①又は②の場合は、その旨を上記アまで連絡してください。

① 連絡先を変更する場合又は諸事情により出願を取り下げる場合

② 障がいのある人を対象とした特別選考〔特別選考Ⅶ〕に出願する者ではないが、身体の障がい、けがや妊娠等により、試験会場や実技試験等に特別な配慮を要する場合

Ⅱ 受験票交付について

出願を受理した受験者に対して、受験番号等を記載した受験票を発行します。

【電子申請による出願をした者】

「受験票（結果通知書）発行のお知らせ」（6月19日（金）までに送信予定）のメールを受信後、申請内容確認ページへアクセスし、受験票（結果通知書）を表示して印刷してください。メールが届かない場合は、6月24日（水）までに上記「(5) 出願時の留意事項」のアまで連絡してください。なお、申請内容確認ページへアクセスする際は、メールアドレス、受付番号及び自身で設定したパスワードの入力が必要です。

【郵送による出願をした者】

出願時に提出された返信用封筒（受験票用）にて受験票を郵送します（6月19日（金）までに発送予定）。6月24日（水）までに届かない場合は、上記「(5) 出願時の留意事項」のアまで連絡してください。

Ⅲ 第一次試験での持参物について

第一次試験を受験する際に、以下のものを持参してください。

① 受験票

「Ⅱ 受験票交付について」により印刷した受験票を持参してください。また、試験会場や集合時間、持参物などの注意事項が記載されていますので、よく読んでおいてください。

② 自己PR用紙（福岡県のホームページ「教員採用」のページ（P.23参照）からダウンロード又はP.21の自己PR用紙をコピー）
自己PR用紙に必要事項を記入し、第一次試験受験時に提出してください。ただし、大学3年生チャレンジ特別選考の区分で受験する者は提出不要です。

③ 返信用封筒（第一次試験結果通知用）

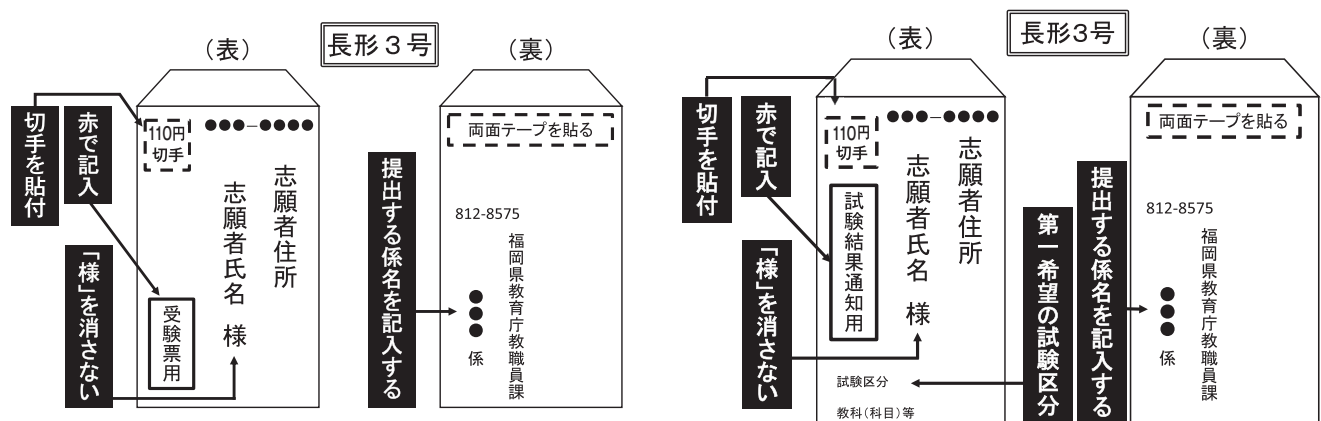
「Ⅳ 返信用封筒について」の第一次試験結果通知用を参照してください。

④ その他、受験票に記載された持参物

Ⅳ 返信用封筒について

【受験票用】（郵送による出願者のみ）

【第一次試験結果通知用】



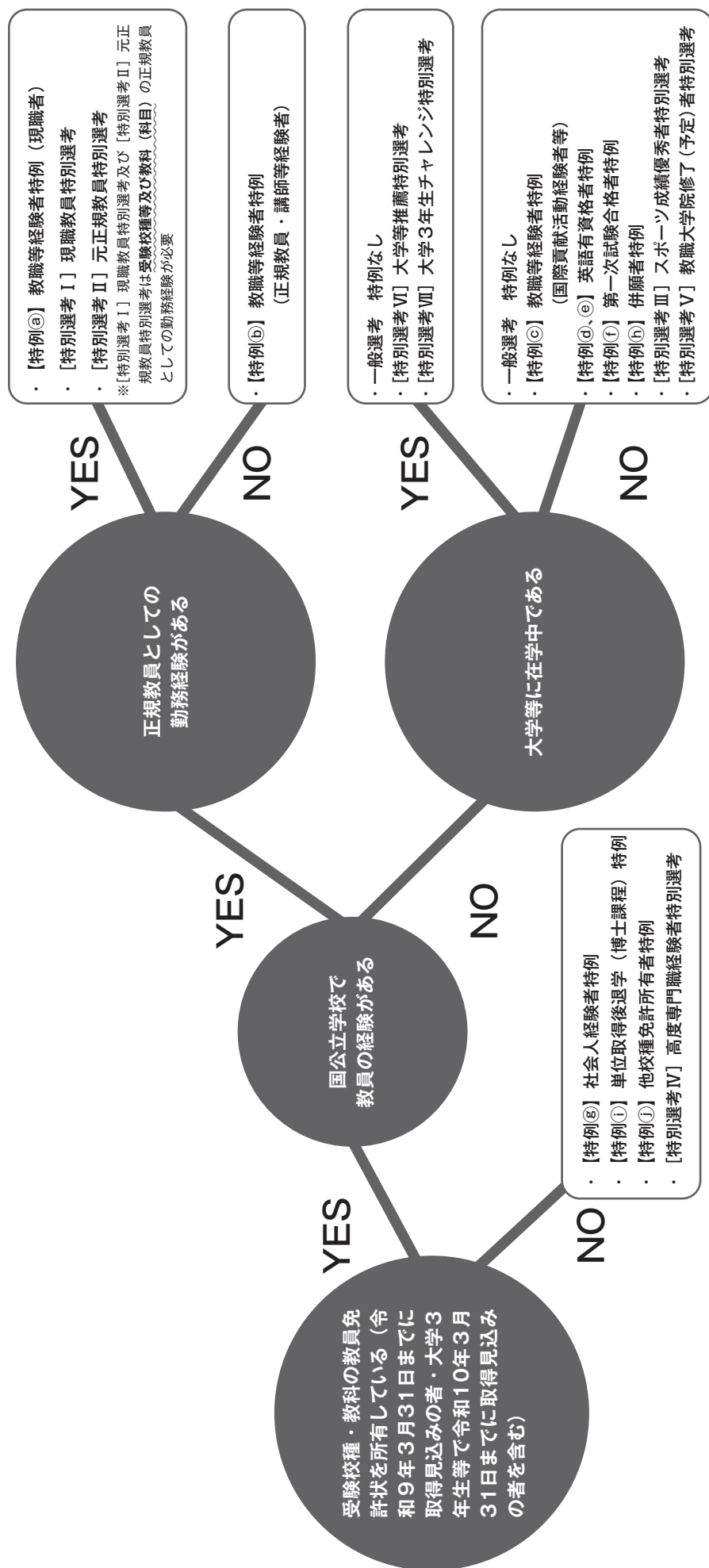
特例申請・特別選考フローチャート

【注意点】

出願する際は必ず実施要項 P.5、P.6 の特例申請要件・受験資格要件を確認してください。

フローチャート上で自身の経歴上「YES」に該当する場合でも「NO」を選んだ先の特例申請・特別選考で出願できる場合があります。

必ず受験者自身の責任でどの特例申請・特別選考に該当するか選んで出願してください。



※【特別選考Ⅶ】 障がいのある人を対象とした特別選考については、上記の特例、特別選考と重複して出願できます。

※【特例d、e】 英語有資格者特例又は【特例h】 併願者特例は、【特例a、b、c】 教職等経験者特例と重複して出願できます。

《志願書記入上の注意》

- 1 志願書は、郵送による出願をする受験者のみ記入し、提出してください。電子申請による出願を行う受験者は提出する必要はありません。
- 2 黒のボールペン又は万年筆を使用して記入してください。(摩擦熱等の温度変化によって文字が消えるペンは使用しないでください。)
- 3 楷書で正確に記入してください。また、数字は全て算用数字を用いてください。
- 4 志願書に虚偽の記載があった場合は、採用できないことがあります。

《志願書記入例》

- ①戸籍又は外国人登録証明書等に記載されている氏名を、正確に記入すること。
- ②③④記入しないこと。
- ⑤例にならって記入すること。
- ⑥保健体育(中・高)の志願者のみ「男・女」のいずれかを記入すること。
- ⑦⑧例にならって記入すること。
- ⑨⑩受験する試験区分に従って記入すること。(P. 3 参照)
(例) 小学校教員(一般)、中学校教員、特別支援学校教員など
- ⑪受験する教科(科目)等を記入すること。(P. 3 参照)
(例) 国語、地理歴史(地理)、高等部 理科(物理)など
- ⑫地理歴史(歴史)、保健体育及び工業を志願する者のみ下記の欄から一つ記入すること。(特別支援学校の志願者は記入不要)
【地理歴史(歴史)の志願者】
日本史、世界史
【保健体育の志願者】
陸上、体操、ダンス、新体操、柔道、レスリング、剣道、バスケットボール、ハンドボール、バレーボール、バドミントン、卓球、野球、ソフトボール、サッカー、ラグビー、テニス、水泳、その他
【工業の志願者】
機械、電気・電子、土木、建築、工業化学
- ⑬受験する一般選考(特例区分)に従って記入すること。(P. 5 参照)
- ⑭受験する特別選考(選考区分)に従って記入すること。(P. 6 参照)
- ⑮小学校、中学校、県立高等学校教員、古賀(古賀竟成館)高等学校教員、特別支援学校教員又は養護教員を志願する者で、点数加算を希望する者は、記入すること。

【小学校教員】

英語に係る資格、ICT教育に係る資格、特別支援学校教諭免許(領域)、司書教諭資格

【中学校教員】【古賀(古賀竟成館)高等学校教員】

特別支援学校教諭免許(領域)、司書教諭資格

【県立高等学校教員】

特別支援学校教諭免許(領域)、司書教諭資格、高等学校教諭(情報)免許、情報処理技術者試験合格者(ア)、情報処理技術者試験合格者(イ)

【特別支援学校教員】

司書教諭資格

【養護教員】

看護師免許

- ⑯出願前6か月以内に撮影した[縦4.5cm×横3.5cm]パスポート用証明写真サイズ、上半身、無帽、正面向き、カラーで、裏面に氏名、試験区分及び教科(科目)等を記入してください。

- ⑰受験に必要な免許状を上段に、併願を希望する者は、その免許状を下段に記入すること。また、特別支援学校教員の志願者は、上段に受験する部に対応する校種・教科の免許状を、下段に特別支援学校教諭免許状とその領域について記入すること。

- ⑱高等学校以上の学歴について新しいものから順に記入すること。

- ⑲職歴を新しいものから順に全て記入すること。
欄が不足する場合は、P.17[様式1] 職歴欄追加用紙を使用すること。

- ⑳福岡県教育委員会の任命による職歴がある場合、「有」と記入し、その時の職員番号を記入すること。

- ㉑過去に罰金以上の刑事罰又は戒告以上の懲戒処分等を受けたことがあるかについて「有・無」のどちらかを記入し、「有」の場合は判決確定年月日等又は処分年月日とその内容(例:酒気帯び運転による50万円の罰金、児童に対するわいせつ行為)を記入すること。

- ㉒㉓㉔㉕内容を確認し、チェック☑をすること。なお、チェックがない場合は、出願を受け付けることができません。

- ㉖内容を確認し、いずれかにチェック☑をすること。
同意の有無は選考に一切影響ありません。

令和9年度 福岡県公立学校教員採用候補者選考試験 志願書

フリガナ	フクオカ タロウ	②No.	
①氏 名	福岡 太郎	③受付番号	
		④受験番号	
⑤生年月日	平成●●年●●月●●日 (令和9年4月1日現在) 満	●● 歳	⑥性別
⑦現住所	〒812-8575 福岡市博多区東公園●番●号		
⑧電話番号	090-●●●●-●●●●	緊急時連絡先	092-●●●●-●●●●
⑨試験区分(受験校種等)	県立高等学校教員	⑬	
⑩併願区分(第二希望)	中学校教員		
⑪教科(科目)	地理歴史(歴史)		
⑫専門分野	日本史		
⑬一般選考(特例あり)	教職等経験者 正規教員・講師等経験者		
⑭特別選考	希望しない		
⑮点数加算	希望しない		

⑦教育職員免許状	種類	区分	教科・領域	取得(見込)年月日	状況
	高等学校	普通・専修	地理歴史	令和●●年●●月●●日	取得見込
	中学校	普通・一種	社会	令和●●年●●月●●日	取得済

⑧学歴	学校名・学部(課程)	在学期間	区分
	●●大学大学院 ●●学研究科	令和●●年●●月 ~ 令和●●年●●月	修了見込
	●●大学 ●●学部	令和●●年●●月 ~ 令和●●年●●月	卒業
	●●高等学校	平成●●年●●月 ~ 令和●●年●●月	卒業

⑨職歴	勤務校(先)名	職名	在職期間	正・臨
	●●県立●●高等学校	非常勤講師	令和●●年●●月 ~ 令和●●年●●月	臨時(非常勤)
			~	
			~	
			~	
			~	
㉑福岡県教育委員会の任命による職歴の有無		有	職員番号	25●●●●●●

⑩刑罰・処分歴	有無	年月日	刑罰・処分の内容
	有	令和●●年●●月	酒気帯び運転による50万円の罰金

㉒ 私は、地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格事項に該当していません。 また、この志願書の記載内容は、全て事実と相違ありません。	☒ 宣誓します
㉓ 私は、令和8年12月25日までに施行予定の学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律第2条第8項に規定する特定性犯罪事実該当者ではありません。	☒ 宣誓します
㉔ 提出する証明書等の記載内容に関し、その証明書等の発行元に対し、必要な範囲で確認のため照会を行います。	☒ 同意する
㉕ 志願書類に虚偽の記載があった場合は、採用を取り消すことがあります。	☒ 了承します
㉖ 令和8年度の臨時教員の募集のため、県内教育機関に本登録内容を提供します。	☒ 同意する ☐ 同意しない

令和9年度 福岡県公立学校教員採用候補者選考試験 志願書

フリガナ			No.			
氏 名			受付番号			
			受験番号			
生年月日	(令和9年4月1日現在) 満			歳	性別	
現 住 所	〒					
電話番号			緊急時連絡先			

試験区分 (受験校種等)		写真貼付欄 (縦 4.5cm × 横 3.5cm) 1 出願前6か月以内に撮影したもの 2 上半身、無帽、正面向き、カラー 3 写真裏面に氏名、試験区分、教科(科目)等を明記の上、欄で四隅が剥がれないようにしっかりと貼付すること
併願区分 (第二希望)		
教科(科目)		
専門分野		
一般選考 (特例あり)		
特別選考		
点数加算		

	種類	区分	教科・領域	取得(見込)年月日	状況
教育職員免許状					

	学校名・学部(課程)	在学期間	区分
学歴		～	
		～	
		～	

	勤務校(先)名	職名	在職期間	正・臨
職歴			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
福岡県教育委員会の任命による職歴の有無			職員番号	

刑罰・処分歴	有無	年月日	刑罰・処分の内容

私は、地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しておりません。
また、この志願書の記載内容は、全て事実と相違ありません。
私は、令和8年12月25日までに施行予定の学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律第2条第8項に規定する特定性犯罪事実該当者ではありません。
提出する証明書等の記載内容に関し、その証明書等の発行元に対し、必要な範囲で確認のため照会を行います。
志願書類に虚偽の記載があった場合は、採用を取り消すことがあります。
令和8年度の臨時教員の募集のため、県内教育機関に本登録内容を提供します。

- ☐ 宣誓します
☐ 宣誓します
☐ 同意する
☐ 了承します
☐ 同意する ☐ 同意しない

【提出書類表紙】

氏 名		受付番号 (電子申請による出願者のみ)	
試験区分・教科(科目)等			
該当する受験区分に☑をつけてください。 ☐ 現職者特例 ☐ 他校種免許所有者特例 ☐ 正規教員・講師等経験者特例 ☐ スポーツ成績優秀者特別選考 ☐ 国際貢献活動経験者等特例 ☐ 高度専門職経験者特別選考 ☐ 英語有資格者A特例 ☐ 教職大学院修了(予定)者特別選考 ☐ 英語有資格者B特例 ☐ 大学3年生チャレンジ特別選考 ☐ 第一次試験合格者特例 ☐ 障がいのある人を対象とした特別選考 ☐ 社会人経験者特例 ☐ いずれにも該当しない ☐ 単位取得後退学(博士課程)特例			
提出物			添付している ものに○
[様式1] 職歴欄追加用紙			
[様式2] 教職等経験者を対象とした一般選考の特例申請書			
[様式3]	社会人経験者を対象とした一般選考の特例申請書		
	高度専門職経験者を対象とした特別選考申請書		
[様式4] 障がいのある人を対象とした特別選考申請書			
証明書等の写し(具体的に記入してください)			
志願書・返信用封筒(受験票用)			
自己PR用紙			
返信用封筒(第一次試験結果通知用)			
その他(具体的に記入してください)			

[様式 1]

該当する番号を○で囲んでください。

試験区分（校種等）	教科（科目）
1 小学校教員（一般） 2 小学校教員（英語有資格者） 3 中学校教員 4 県立高等学校教員 5 久留米市立高等学校教員	() 併願区分（第2希望）
6 古賀（古賀竟成館）高等学校教員 7 特別支援学校教員（小学部） 8 特別支援学校教員（中学部） 9 特別支援学校教員（高等部） 10 養護教員 11 栄養教員	
	1 併願なし 2 小学校教員（一般） 3 中学校教員 4 特別支援学校教員（中学部） 5 特別支援学校教員（高等部）

記入日	令和8年 月 日
ふりがな	
氏 名	

[illegible]

[様式 2]

教職等経験者を対象とした一般選考の特例申請書【特例 ①、②、③】

該当する番号を各欄ごとに一つ○で囲んでください。

試験区分（校種等）	教科（科目）	記入日	令和 8 年 月 日
1 小学校教員（一般）	（ ）	ふりがな	
2 小学校教員（英語有資格者）			
3 中学校教員	特例区分	氏 名	
4 県立高等学校教員	① 現職者		
5 久留米市立高等学校教員	② 正規教員・講師等経験者	福岡県教育委員会の任用時の職員番号	
6 古賀（古賀寛成館）高等学校教員	③ 国際貢献活動経験者等		
7 特別支援学校教員（小学部）	併願区分（第2希望）		
8 特別支援学校教員（中学部）	1 併願なし		
9 特別支援学校教員（高等部）	2 小学校教員（一般）		
10 養護教員	3 中学校教員		
11 栄養教員	4 特別支援学校教員（中学部）		
	5 特別支援学校教員（高等部）		

令和 9 年度福岡県公立学校教員採用候補者選考試験において、一般選考の教職等経験者の特例を申請します。

① 現職者

現在勤務校（先）名	職名（職務内容等）	勤務期間
		昭和 年 月 日 ~ 令和 8 年 4 月 1 日

② 正規教員・講師等経験者、③ 国際貢献活動経験者等

勤務校（先）名 （※ 職歴は新しいものから順に上から記入すること。）	職名（職務内容等）	勤務期間	月数		
			常勤	非常勤	国際活動等
		平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	月	月	月
		平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	月	月	月
		平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	月	月	月
		平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	月	月	月
		平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	月	月	月
勤務期間月数計			① 月	② 月	③ 月
非常勤の換算勤務期間月数計（④＝②× 1 / 2）※小数点以下切り捨て			④ 月	⑤ 月	⑥ 月
申請月数計（⑦＝①＋④）（⑧＝③）			⑦ 月	⑧ 月	⑨ 月

（※注意事項）

- ① ② 正規教員・講師等経験者の申請可能な月数計は、令和 3 年 4 月 1 日から令和 8 年 5 月 22 日までの期間で 12 月以上です。③ 国際貢献活動経験者等の申請可能な月数計は、平成 28 年 4 月 1 日から令和 8 年 5 月 22 日までの期間で 24 月以上です。上欄の勤務校（先）名等の記入は、月数計が申請に必要な分確認できるものでかまいません。
- ② ③ を申請する者で、福岡県教育委員会による任命のみで申請期間を満たす者については、本用紙のみ提出してください。その際、福岡県教育委員会任用時の職員番号を必ず記載してください。
- ③ ③ を申請する者で②以外の者は、上欄記入分が確認できる勤務校（先）名、職名、任用期間及び発令者が明記された辞令の写し、人事異動通知書（所属控え）の写し又は勤務先、職名、勤務期間が記載された、勤務先が発行する証明書（様式任意。）を、③ を申請する者は、派遣経験を証明する書類（委嘱状等の写し）を添付してください。添付書類は、上記の記載順に並べ申請書を一番上にクリップ止めしてください。
- ④ 辞令等の氏名と本申請書の氏名が異なる場合は、併せて戸籍抄本を提出してください。
- ⑤ 任用形態（常勤・非常勤）や職務内容を確認するために、任用通知書の写し等の追加書類を求める場合があります。
- ⑥ 「勤務期間」の欄は、平成 28 年 4 月 1 日～令和 8 年 5 月 22 日の間で新しいものから順に記入してください。
- ⑦ 辞令等が複数枚あっても、同一勤務校で勤務期間が引き続く場合は、まとめて一行に記入してください。
- ⑧ 非常勤講師（非常勤養護教諭を含む。）としての勤務期間は、その勤務期間に 1 / 2 を乗じ、小数点以下は切り捨てて算出してください。
- ⑨ 月に 1 日でも勤務日があれば「1 か月」とします。
- ⑩ 同一月に複数の勤務校がある場合は、いずれか一校の勤務を対象とします。
- ⑪ 欄が不足する場合は、本用紙をもう一部使用してください。

[様式 3]

該当する番号を○で囲んでください。

試験区分（校種等）	教科（科目）
1 小学校教員（一般） 2 小学校教員（英語有資格者） 3 中学校教員 4 県立高等学校教員 5 特別支援学校教員（小学部） 6 特別支援学校教員（中学部） 7 特別支援学校教員（高等部） 8 養護教員 9 栄養教員	（ ） 特例・特別選考区分 1 社会人経験者 2 高度専門職経験者

記入日	令和 8 年 月 日
ふりがな	
氏 名	
連 絡 先	

令和9年度福岡県公立学校教員採用候補者選考試験において、一般選考の社会人経験者特例又は高度専門職経験者を対象とした特別選考を申請します。

勤務先名			勤務期間				月数 ①	休職等期間				月数 ②	月数 ③ (①－②)		
			平成 令和	年	月	～	平成 令和	年	月		平成 令和	年	月		月
職名	職務内容														

勤務先名			勤務期間					月数	休職等期間					月数	月数				
								①						②	③ ①－②				
			平成 令和	年	月	～	平成 令和	年	月	月	平成 令和	年	月	～	平成 令和	年	月	月	月
職名		職務内容																	

勤務先名			勤務期間			月数 ①	休職等期間			月数 ②	月数 ③ ①－②
			平成 令和	年	月	～	平成 令和	年	月		月
職名			職務内容								

(※記入上の注意)

- ①【特例⑧】については、申請可能な月数計は24月以上で、【特別選考Ⅳ】のうち②については、申請可能な月数計は36月以上です。
- ②勤務期間は新しいものから順に記入してください。
- ③月に1日でも勤務日があれば「1か月」とします。
- ④月数の算定において、同一月に複数の勤務先がある場合は、いずれか一つを対象とします。
- ⑤欄が不足する場合は、本用紙をもう一部使用してください。
- ⑥【特別選考Ⅳ】のうち②の申請にあたっては、職務内容欄について専門性や教科との関連性が分

申請月数計 (③の合計)	月
--------------	---

コピーして使用してください
[様式 4]

障がいのある人を対象とした特別選考申請書 [特別選考Ⅷ]

該当する番号を○で囲んでください。

試験区分 (校種等)	教科 (科目)	記入日	令和 8 年 月 日
1 小学校教員 (一般) 2 小学校教員 (英語有資格者) 3 中学校教員 4 県立高等学校教員 5 久留米市立高等学校教員 6 古賀 (古賀竟成館) 高等学校教員 7 特別支援学校教員 (小学部) 8 特別支援学校教員 (中学部) 9 特別支援学校教員 (高等部) 10 養護教員 11 栄養教員	() 併願区分 (第 2 希望) 1 併願なし 2 小学校教員 (一般) 3 中学校教員 4 特別支援学校教員 (中学部) 5 特別支援学校教員 (高等部)	ふりがな	
		氏 名	
		連絡先	

※ 連絡先欄は、FAX又は電子メールでの連絡を希望する場合のみ、FAX番号又はメールアドレスを記入してください。

令和 9 年度福岡県公立学校教員採用候補者選考試験において、障がいのある人を対象とした特別選考を申請します。

1 障がいの状況等

障害者手帳等	交付機関	都・道・府・県 市	交付年月日	昭和 平成 令和 年 月 日
	交付番号	第 号		

2 配慮を希望する事項(合否には影響しませんので、できるだけ具体的に記入してください。)

(1) 第一次試験 (筆記試験) について

(例) 要約筆記を希望する、拡大文字の問題の使用を希望する、車椅子利用を前提とした座席配置を希望する等

(2) 第二次試験 (模擬授業、個人面接、英語面接、実技試験) について

(3) 仕事をする上で必要な配慮・支援及び配慮等が必要な理由

(配慮等の内容)	(配慮等が必要な理由)

※ 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳の写しを提出してください。

令和9年度福岡県公立学校教員採用候補者選考試験 自己PR用紙

該当する番号を○で囲んでください。

試験区分（校種等）	教科（科目）
1 小学校教員（一般） 2 小学校教員（英語有資格者） 3 中学校教員 4 県立高等学校教員 5 久留米市立高等学校教員 6 古賀（古賀竟成館）高等学校教員 7 特別支援学校教員（小学部） 8 特別支援学校教員（中学部） 9 特別支援学校教員（高等部） 10 養護教員 11 栄養教員	（ ）

記入日	令和8年 月 日
ふりがな	
氏 名	
※ 受験番号	

※出願時に提出する場合、受験番号は未取得のため空白のままとすること。

1 自己PR（志願理由も含めて記入すること）

2 活動の記録

	高校・大学における部活動等	部活動の指導実績	その他の活動（ボランティア活動等）
部（団体） ・活動名 ・活動期間等 役職等 実績、段・級等			

先輩教員から受験者のみなさんへのメッセージ 私たちと一緒に福岡県の子どもの可能性を広げよう!



飯塚市立立岩小学校
教諭 穴吹 采耶



教員を志した理由

私が教員を目指した理由は、小学校三年生の時の先生がきっかけです。そばにそと寄り添っていただいたので、今度は私が子どもたちのそばに寄り添いたいと思い、教員を目指し始めました。そして今では、温かい職場の先生方や子ども達に恵まれ、楽しく働いています。

受験者へのメッセージ

教員の仕事は「変化」を感じられる仕事だと思います。子どもたちと実際に話をしたり、学習をしたりしていく中で、成長を一番近くで感じることができます。楽しいことがあると一緒に笑ったり、悲しいことがあると一緒に悲しんだりしてすごく充実した日々は私の財産です。

須恵町立須恵中学校
教諭 藪本 祐誠



感動エピソード

生徒がどうしてもわからない問題を聞きに来た際に、生徒が理解し、笑顔で帰っていくときにやりがいを感じます。「先生ありがとう。理解できた。」と言われるたびに、教えてよかったと感じ、達成感を感じることが出来ます。

受験者へのメッセージ

仕事が始まると、友達と遊んだり、旅行に行ったりする機会が少なくなります。大学生のうちは、社会人と比べると自分と向き合う時間があると思います。自分の特技や個性を伸ばしつつ、友達や家族との時間も大切に時間を有意義に使ってほしいです。

福岡県立玄界高等学校
教諭 山田 航生



教員を志した理由

教員を志した理由は、生徒の成長や変化を目の前で感じられるからです。自分がかけた言葉が生徒の心に届き、その行動や考え方が変わる瞬間に、大きなやりがいを感じます。日々、生徒と共に充実した楽しい時間を過ごしています。

受験者へのメッセージ

教員の仕事は大変なことも多いですが、毎日が新しく、生徒から刺激を受けながらやりがいと楽しさを感じられる唯一無二の仕事です。採用試験を乗り越え、現場でそれを感じてほしいです。心から応援しています。

福岡県立糸島特別支援学校
教諭 瀧口 雅姫



仕事をする上で大切にしていること

生徒の将来を見据え、一人一人の可能性を伸ばすことができるような支援をすることを大切にしています。今できることだけで判断せず、成長の芽を丁寧に育て、将来に繋がる力を身に付けられるよう寄り添いたいと思っています。

受験者へのメッセージ

生徒と過ごせることは本当に幸せで、私自身も学ぶことばかりです。まだまだ成長途中ではありますが、子どもたちと一緒に成長できる毎日はかけがえのない時間となっています。少しでも「子どもと関わりたい。」という気持ちがあるなら、ぜひ教師という道に挑戦してみてください。

築上町立椎田中学校
養護教諭 寺師 里菜



仕事をする上で大切にしていること

養護教諭として、健康についてのお手本でありたいと思っています。そのためには、まずは自分の健康管理を行い、毎日健康であることを意識しています。「何をするにも心と体の健康が大事」と生徒にも伝えていきます。

受験者へのメッセージ

私は一度、福岡県の教員になることを諦めかけました。それでも、自分の目指す養護教諭像を見つめ直し、受験を決めました。今の職場と出会えて、最後まで諦めなくてよかったと感じています。皆さんの挑戦を心から応援しています。

糸田町立糸田小学校
栄養教諭 黒田 桃佳



仕事をする上で大切にしていること

日々の給食や食育を通して、「食することは楽しい」と子どもたちに感じてもらうことを大切にしています。子どもたちの声に耳を傾け、一人一人に寄り添いながら、安心・安全で心に残る給食時間づくりを心がけています。

受験者へのメッセージ

栄養教諭は、学校で唯一「食」を専門に支える存在です。衛生管理やアレルギー対応など責任の重さはありませんが、食を通して子どもたちの心と体の成長に関われる、やりがいのある職種です。ぜひ自信をもって挑戦してください。応援しています。

勤務条件の概要

給与

■初任給

(令和8年4月1日現在)

区分	小学校、中学校、義務教育学校、 高等学校、中等教育学校	特別支援学校
大学卒	約295,500円	約307,300円
大学院修了（修士課程）	約314,000円	約325,800円
短大卒	約271,500円	約281,100円
社会人経験者（5年）	約321,100円	約332,900円
社会人経験者（10年）	約355,100円	約366,900円
社会人経験者（15年）	約378,100円	約389,900円

※初任給は、給料月額、教職調整額、地域手当、義務教育等教員特別手当及び給料の調整額（特別支援学校のみ）を合わせた金額です。

※社会人経験者の初任給は、4年制大学を卒業し、教員の職務と直接関連のない企業で正社員として勤務していた場合で試算しています。

■各種手当

支給要件を満たす場合には、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当等が支給されます。

また、特別支援学級、へき地の学校、定時制高等学校等に勤務する者及び農業・工業高等学校等に勤務し、実習教科を担当する者には、別途手当等が支給されます。

勤務時間等

勤務時間は週38時間45分で、休日は土曜日、日曜日、祝日及び年末年始となっています。また、年次休暇20日（採用1年目は15日）、産前・産後休暇（各8週間）、夏季休暇（6日間）、忌引休暇、結婚休暇等があります。

福利厚生

採用と同時に公立学校共済組合員となります。出産、育児休業等には給付金があります。また、人間ドック等の受診や、ライフプラン確立を支援するセミナー等に参加することができます。

問い合わせ先

試験区分	問い合わせ先	電話番号
小学校・中学校・養護・栄養教員	福岡県教育庁教職員課 市町村立学校係	(092) 643-3892
県立高等学校・特別支援学校教員	福岡県教育庁教職員課 県立学校係	(092) 643-3893
久留米市立高等学校教員	久留米市教育委員会教育部教職員課	(0942) 30-9215
古賀（古賀竟成館）高等学校教員	古賀高等学校組合教育委員会	(092) 942-1136

※試験の内容に関する問い合わせには応じられません。

福岡県教育委員会「教員採用」
実施要項、各種様式等のダウンロードはこちら



令和9年度福岡県公立学校教員
採用候補者選考試験出願手続
電子申請による出願はこちら

